国際政治経済論

—グローバル化する国際社会における様々な課題と対応策—

小尾 美千代

研究室:Q6001

1. プロジェクト研究テーマの設定理由と内容

国際政治経済学は国際社会における政治(国家)と経済(市場)の相互作用の解明に焦点を当てた国際政治学の一分野です。具体的には、WTOを中心とする自由貿易体制やIMF、世界銀行を中心とする国際金融体制、EUに見られる地域統合やCPTPP、RCEPなどの地域市場統合、エネルギーや食料など生活全般に大きな影響を与える気候変動問題、発展途上国に対する経済・開発支援、などについて、国家および市場の役割の相互関係やその変化に主に焦点を当てた分析がおこなわれています。

本プロジェクト研究では、「国際政治経済論」科目で扱っている、グローバル化が進展している国際社会における様々な課題について、実態と問題解決のための国際的な対応策を中心に学修します。文献講読や事例研究を通して、専門知識の習得や実態把握だけではなく、論理的思考力や国際的な諸問題に対する多角的な分析視角を身につけていきます。また、授業での報告を通じてプレゼンテーション・スキルの向上も目指します。

卒業研究は個人研究となります。それぞれの関心に応じたテーマを設定し、調査・分析を進めていきます。

2. プロジェクト研究の進め方

【3年次】 ※Q2にゼミはありませんので、留学や海外インターンシップなど、有効に活用してください。

◆1Q(「総合演習A」と合わせて週2回授業):様々な国際問題について、その内容や背景について理解することを目的として、以下の文献を中心に、文献報告と事例報告を中心に授業を行います。取り上げる章(トピック)については受講生と相談して決定します。

佐藤史郎、他編『日本外交の論点[新版]』法律文化社、2024年。

◆3Q・4Q:共同研究—「国際政治経済論」や「グローバル・ガバナンス論」で取り上げたトピック(各シラバス参照)の中から研究テーマを選び、共同で調査・研究・報告を行います。取り上げるトピックや数については受講生と相談して決定します。

※これまでの研究テーマ

世界の半導体産業と国際競争力/EV(電気自動車)の普及政策と課題/移民・難民保護/高度技能人材を日本にいかにか呼び込むか/新疆綿の取引規制問題と日本の対応/世界3大感染症(HIV/AIDS、結核、マラリア)対策/中国の一带一路政策と途上国の対中依存/米中貿易摩擦はなぜ発生したのか

【4年次】卒業研究(個人研究)

◆1Q:研究テーマの選定。

◆2Q:研究上の問い(リサーチ・クエスチョン)の設定。研究概要の作成。

◆3Q:(夏期休業中の作業も含む)卒業研究の完成。

◆4Q:卒業論文の執筆。

3. プロジェクト研究のための前提科目および関連科目

あらかじめ「国際関係論」、「国際政治経済論」、「グローバル・ガバナンス論」を履修していることが望ましい。未履修の場合は、「国際関係論」については2024年度に、「国際政治経済論」と「グローバル・ガバナンス論」は2025年度に必ず履修してください。

このプロジェクト研究の履修者は、3年次 Q1 開講の「総合演習 A」(担当:小尾)を履修する必要があります。(やむを得ない理由で履修が難しい場合には相談してください。)

このプロジェクト研究を希望する場合には、国際政策コースの履修が望ましい。

4. プロジェクト研究開始までの準備

グローバルな課題に関心を持てるように、国内外の社会動向に目を向けて、国際情勢に関するニュースを毎日チェックして見聞を広げてください。

5. その他

(1) 大学とは自らの探求心や好奇心に基づいて「学問」をする場です。本プロジェクトに参加する皆さんには、様々な国際問題について自ら「学び」、問題の核心や対応策などに関する「問い」を通じて、これらの問題を体系的にとらえる視座を習得して頂きたいと思っています。そのため、教員から何かを与えられることを期待するのではなく、自ら主体的かつ積極的に国際問題について探求していく意志を持つ方の履修を期待します。このゼミは、国際問題に関心があり、そうした問題について深く知りたいという知的好奇心のある方には向いていると思いますが、勉強が好きではない方の履修はお勧めしません。研究するのは皆さん自身ですので、その点を十分に認識した上でプロジェクト研究を選択してください。

(2) これまでの卒業研究のテーマ(一部)

- ・孤独・孤立対策: 日本とイギリスの比較研究
- ・日本の移民・難民政策
- ・アメリカの警察と黒人差別
- ・子どもの貧困対策: 日本とイギリスの比較研究
- ・米中対立と国際秩序
- ・市場統合とナショナリズムの関係
- ・イギリスの EU 離脱
- ・日本におけるソーシャル・ビジネス
- ・ミャンマーの民主化と国際支援
- ・慢性的飢餓に対する国際社会の取り組み
- ・電気自動車の普及におけるスマートグリッドの役割
- ・アジアインフラ投資銀行
- ・オランダの教育政策
- ・国際捕鯨委員会と商業捕鯨: 日本、アイスランド、ノルウェーの捕鯨政策の比較分析
- ・日台漁業問題

(3) 志望理由書には、志望理由に加えて以下の点についても記述してください。

- ・現段階で取り組みたいと思っている研究テーマや関心のある問題とその理由。(※このプロジェクト研究のテーマに沿ったものを挙げてください。)
- ・なぜそのテーマに関心を持つに至ったのか。これまでの大学での授業やキャンパス内外での活動・体験などとの関連性を中心に説明してください。
- ・現段階での留学および卒業後の進路の予定。
- ・どのようなゼミにしたいか。そのために自分が貢献できることは何か。プロジェクト研究への抱負。

6. 選考方法

原則として志望理由書と面接に基づいて選考します。面接では、皆さんの関心とこのゼミの研究分野との適合性や、志望者の問題関心や熱意(やる気)などについて確認します。また、「国際関係論」、「国際政治経済論」、「グローバル・ガバナンス論」など国際政策系科目の成績も適宜参考にします。